

ふみびと

第259号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

外に出ずとも 広がる文通の輪

忘れられない笑顔

9月21日は敬老の日。

「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」という趣旨で定められた祝日。

子どもの頃はもちろんそんな小難しい趣旨も知らずに、ただおじいちゃん、おばあちゃんに「いつもありがとう」と伝える日だと思つて、妹とお小遣いの中で買える精一杯のものを贈っていたのですが、そんな僅かなお金で買えるものでも、ま

るで豪華なプレゼントでももらつたかのように喜んでくれる祖父の笑顔が嬉しくて、その日が来るのを楽しみにプレゼントを考えていたものです。

両親が共働きだったため、親代わりに時に厳しくも両親と同じように愛情を注いで可愛がってくれた祖父。子どもながらにそんな祖父を笑顔にしたいと、いつも喜んでもらえる方法を考えていた私たち兄妹にとって



はとても特別な日だったように思います。

祖父を亡くして久しい今でも、この日が来るとそんな日々を思い出しては、蘇るのはあの頃の笑顔。

生きるのに精一杯だった時代。きつと現代では想像もできないような苦勞をたくさん経験してきたであろうことも表に出さずに見せてくれた、孫に対してだけ見せるあの笑顔。

必要なものはすぐ手に入る時代だ。もちろんお金では手に入らないものもあるけれど、「こういふものがほしい」という希望は、昔よりずっと叶いやすい。日用品なら百元ショップに行けばたいてい売っているし、色や柄にこだわりたいければ「青 ハンカチ」などとネットで検索すれば、該当

のものがすぐ見つけれらるだろう。ほしいものがほしい時に手に入るのはとても便利だ。だけど、それ

大切にすること

と引き換えに失ったものがあるのも事実。実際に見て吟味してものを買うこと。買おうか悩んで結局

買わずに帰り、でもやっぱりほしいくなって、何度もお店に足を運ぶことも、ほとんどなくなつた。そ

うやって手に入れたものを、特別に愛おしく思う気持ちも。年に一度でもいいから、本当に悩んで悩んでこれだというものを手に入れ、それを大切にすることを忘れずにいたいと思う。

風にゆられて誰かに届け!

風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あ事務返信筒にのりをつけて、封筒に貼ります。お返事は、お返事用紙に貼ります。



次回発送日

9月末の発送日

月末の発送日は通常通り(30日)の予定です。送りたいお手紙がある場合には、2日前(28日)までに事務局に到着することを確認の上、余裕をもつてポストに投函してください。

新規ご入村者情報

現在、新規ご入村者情報はウェブ上からご覧いただけますが、紙媒体での配布をご希望の方はお気軽に事務局までお問い合わせ下さい。また、ウェブ上のマイページはおススメ村人が表示されるので是非ご利用下さい。

